

大会が開催されます

つながろう仲間 つくろう人権の新世紀」

大会を迎えるにあたって

鳥取県実行委員会
委員長 宇山 眞

「人権と共生の世紀」といわれる二十一世紀最初の研究大会が鳥取県で開催されます。実行委員会では、この大会を新世紀の出版にふさわしいものとするため、精力的に準備をすすめています。

鳥取県は、人口六十万人余りの小さな県ですが、人権先進県をめざした取り組みには誇りうるものがあると思っています。県では「人権尊重の社会づくり条例」を、各市町村では「部落差別をはじめあらゆる差別をなくする条例」等を制定し、人権政策を積極的にすすめています。

「差別の撤廃」は県民だけでなく、等しくみんなの願いであり、その実現には「仲間とつながる」ことが必要です。そして、みんなで二十一世紀を「人権の世紀」にしたい。この思いを鳥取県から発信しようという願いをこめて、地元スローガンを作りました。

みなさんも、この大会にぜひ参加していただき、差別の現実から深く学び、自らの人権意識を高めていただきたいと思います。

全国人権・同和教育研究大会が、十一月二十四日（土）から二十六日（月）まで、鳥取・倉吉両市を中心に開催されます。
この大会の歴史は四十八年におよび、鳥取で開催されるのは今回で二回目となります。実行委員会では、本大会に二万人の参加者を予定しています。多くの市民の参加により、大会を盛り上げましょう。

—— 前回は全国から16,000人が参加！ ——

前回の鳥取大会は、1982年（昭和57年）鳥取市と国府町を会場に開催されました。このときの参加者は約16,000人。

大会テーマ「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」は、現在も引き継がれています。



前回（1982年）の鳥取大会（鳥取産業体育館）